

鹿角市景況調査結果

令和4年9月実施

調査期間

令和4年9月1日～30日

調査方法

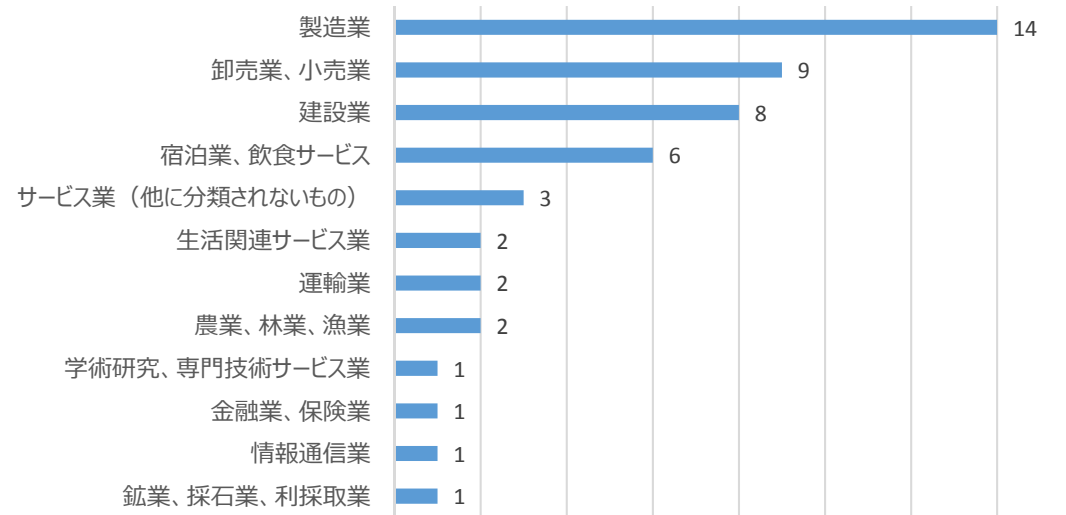
インターネット上の回答専用フォーム

依頼方法

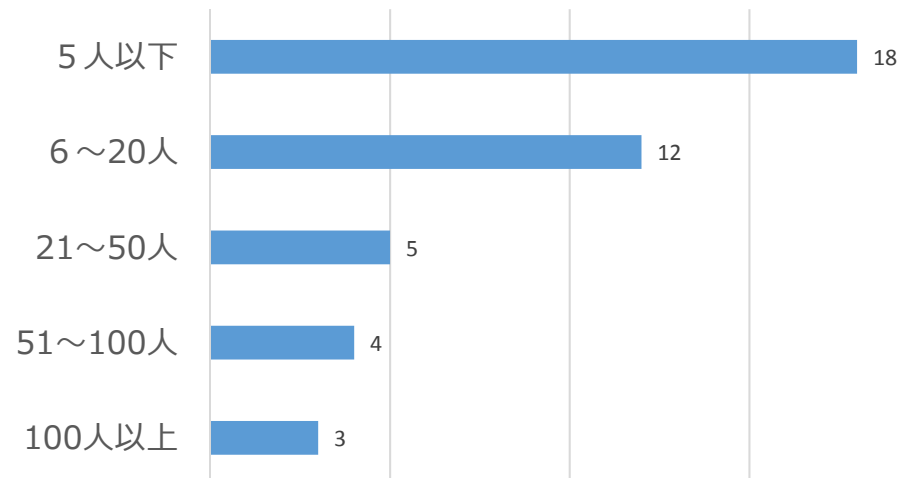
かつの商工会会報に依頼文を同封(770社)
F A X (29社)

回答件数：44社

業種（複数回答）

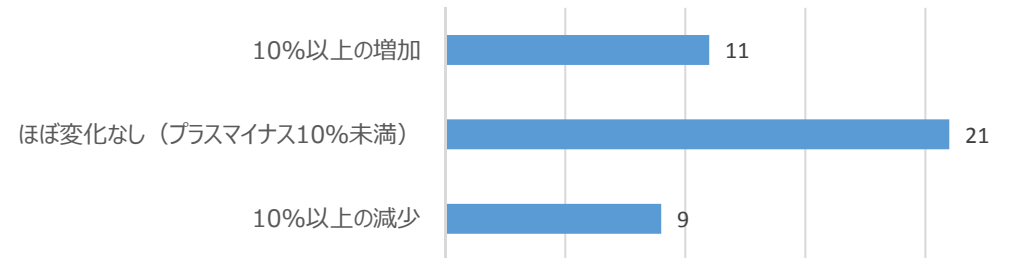


従業員数

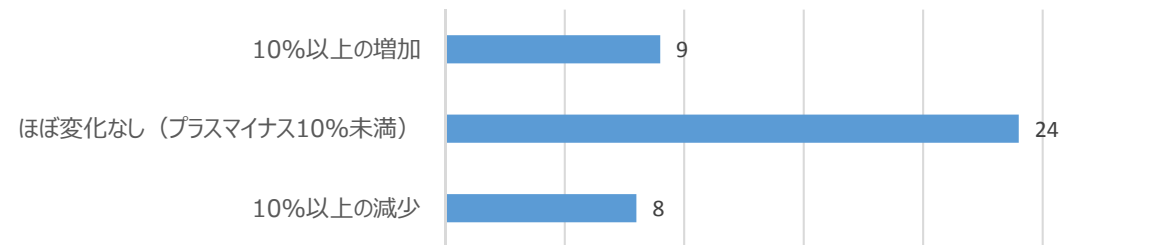


問1. 第一四半期（4月～6月）の状況

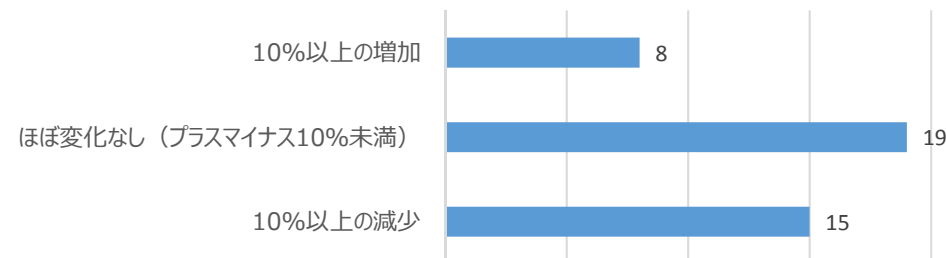
(1)売上高（前年同期比）



(2)売上高（前期比）

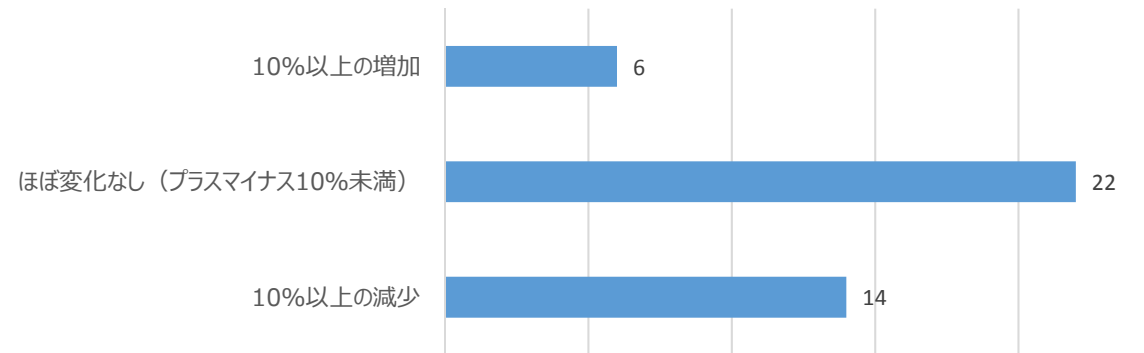


(3)損益（前年同期比）

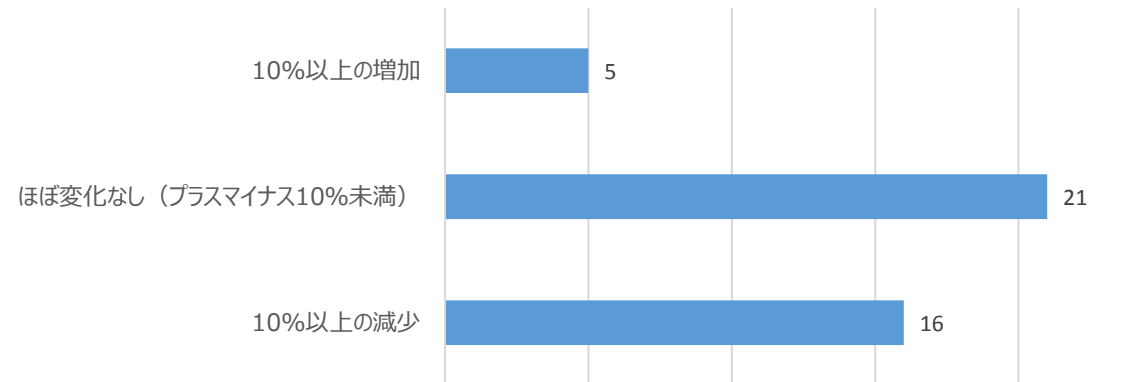


問2. 第二四半期（7月～9月）の見込み

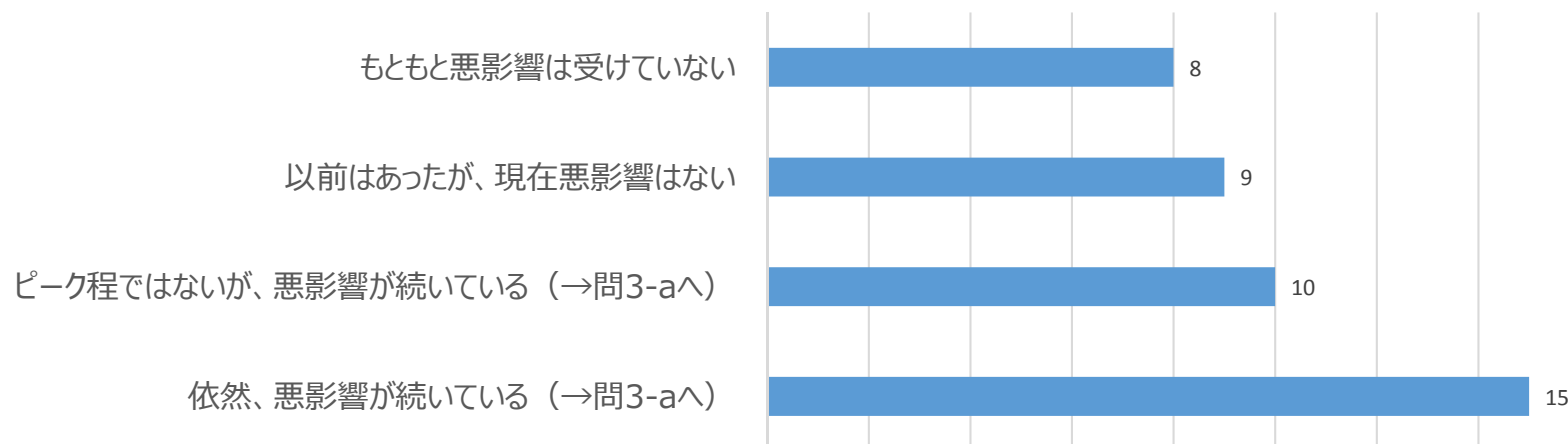
(1)売上高（前年同期比）



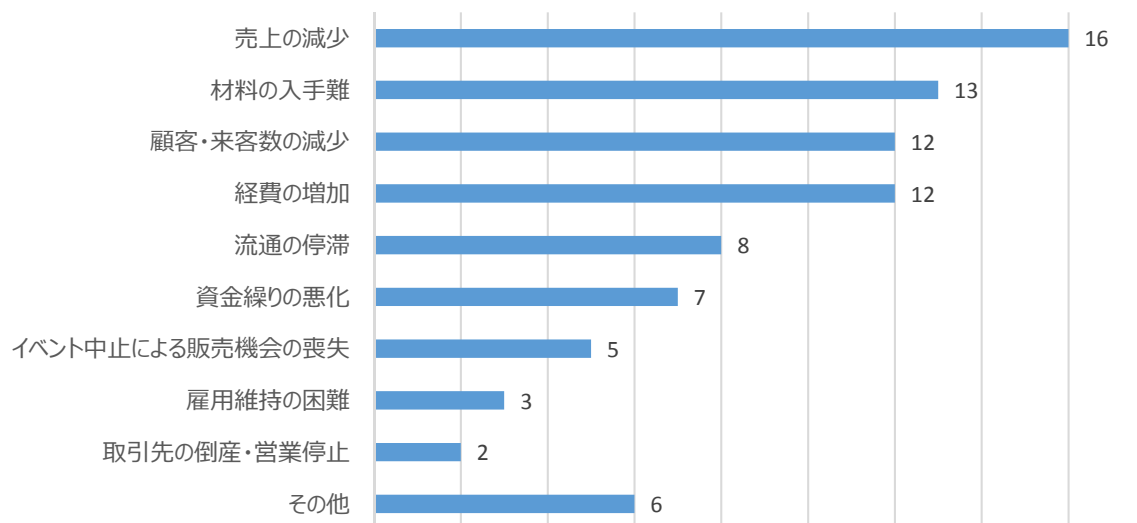
(2)損益（前年同期比）



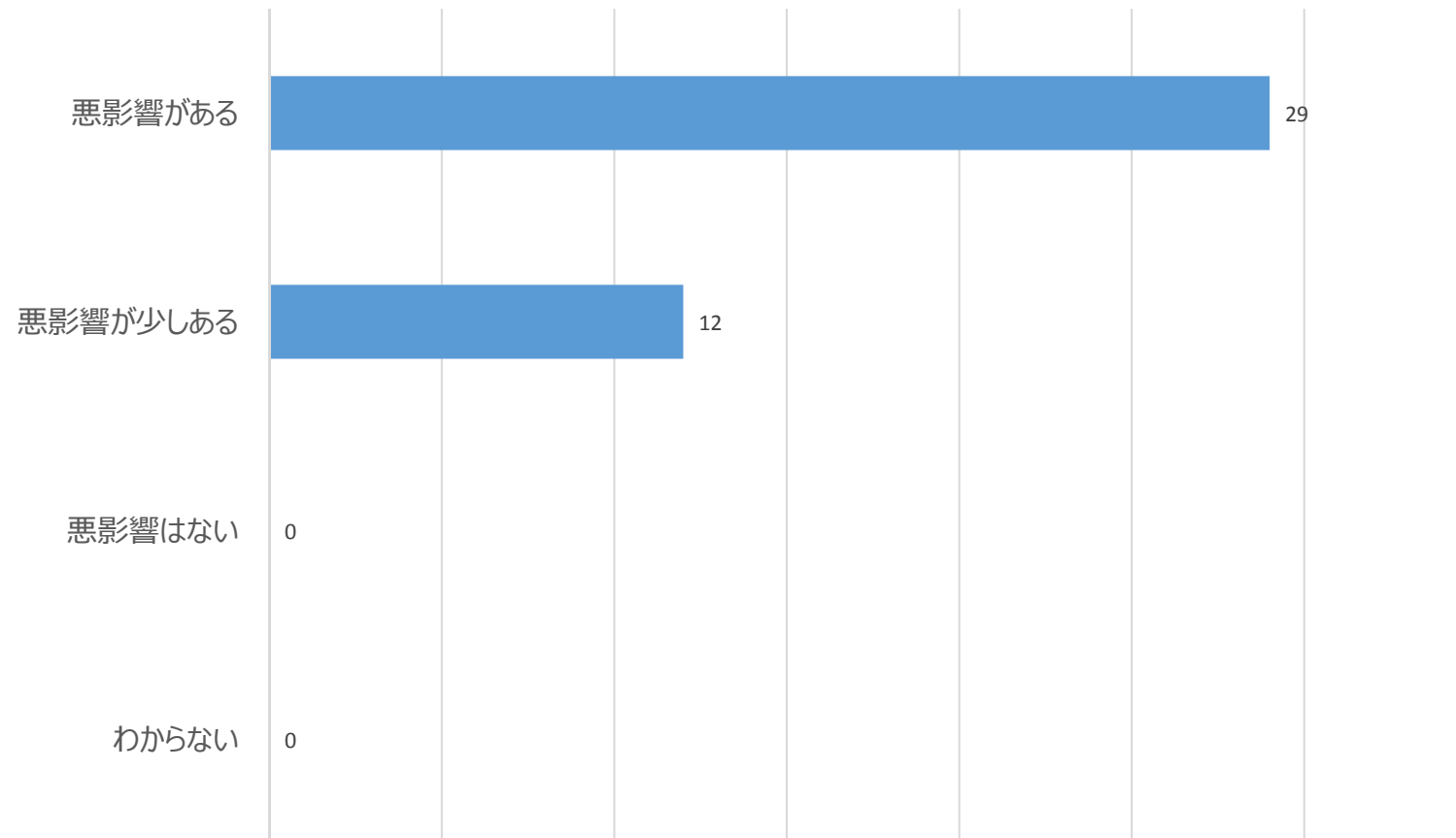
問3. 新型コロナウイルス感染症による事業活動の影響



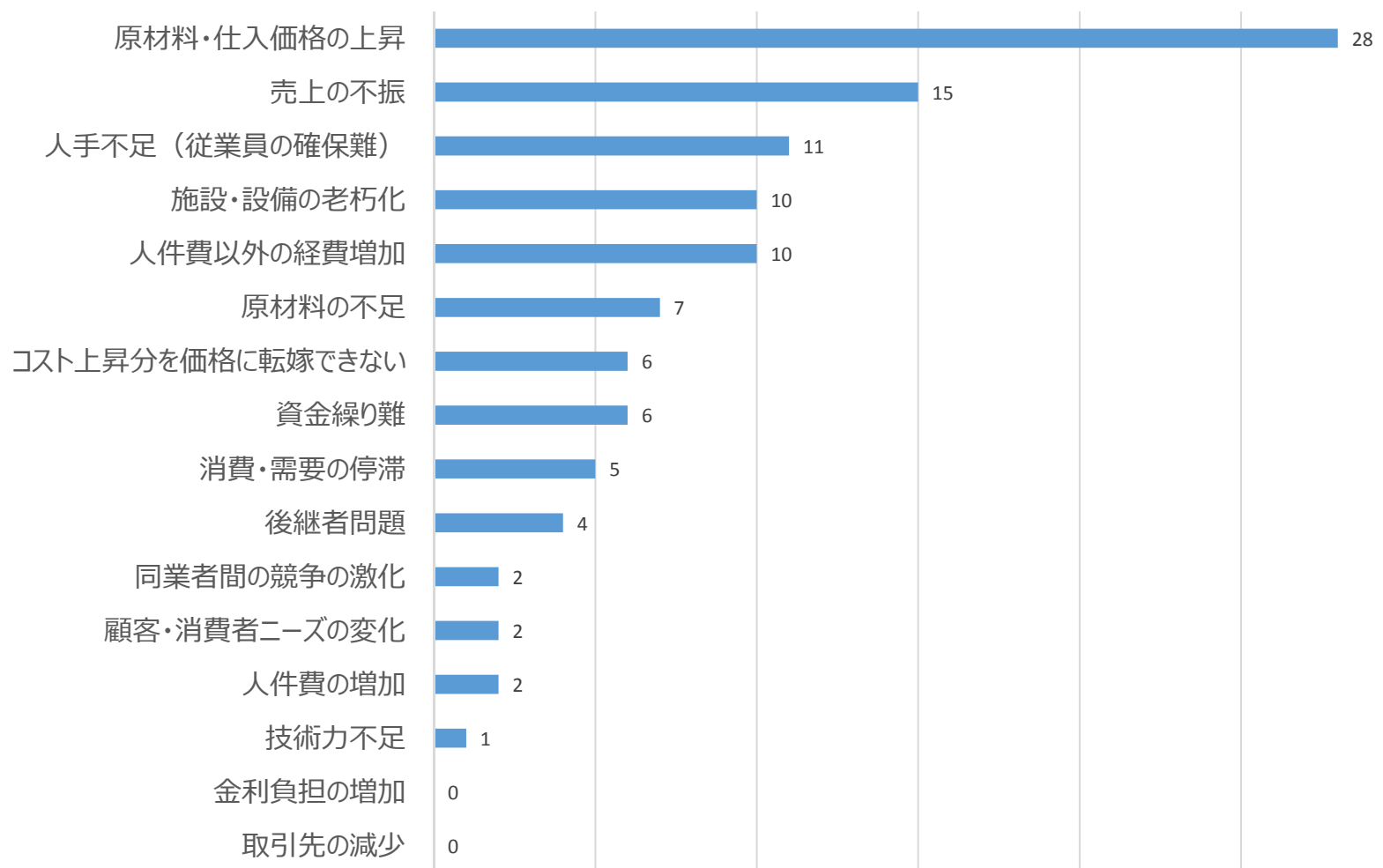
問3-a. どんな影響を受けているか (複数回答)



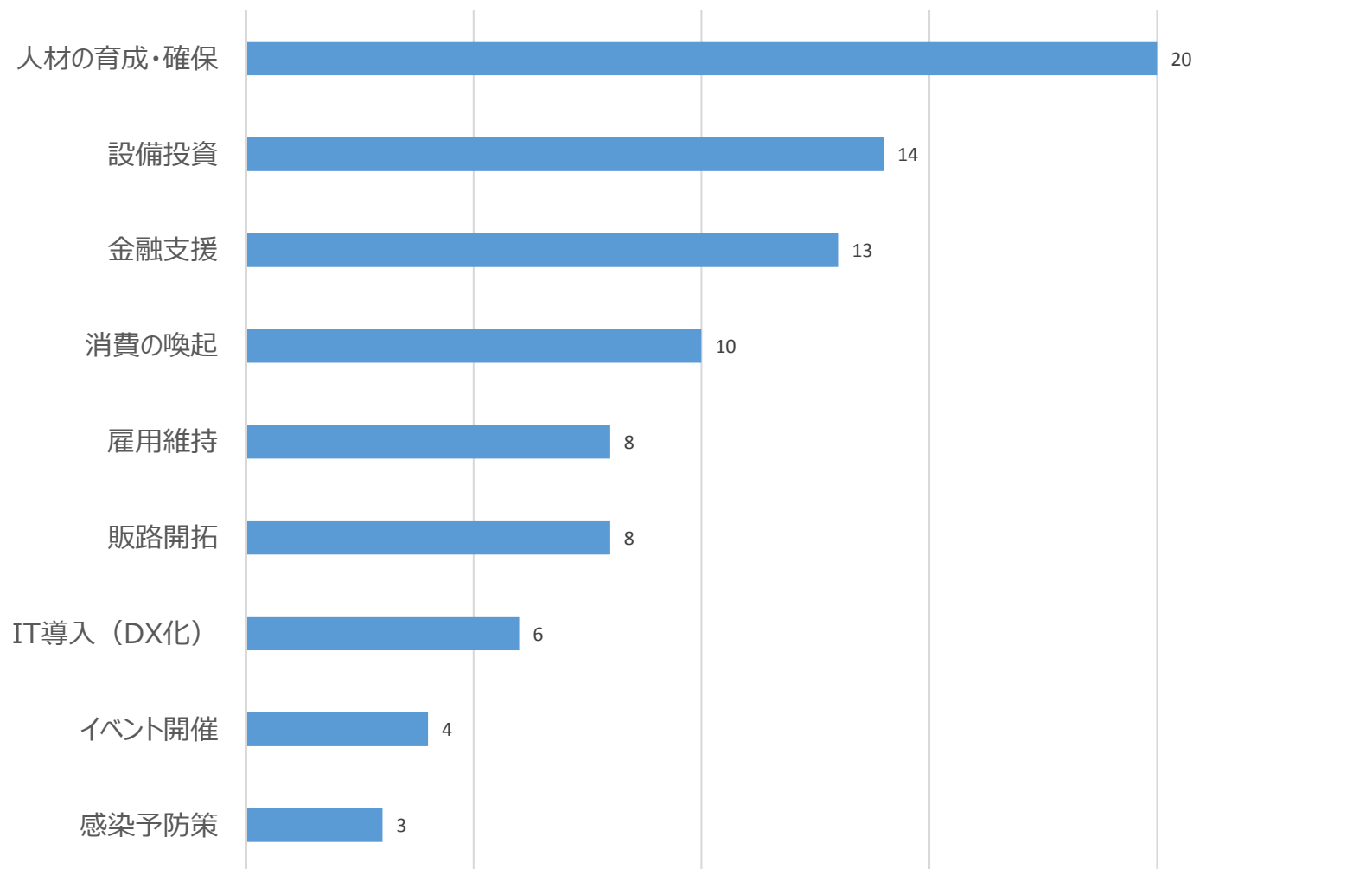
問4. 電気代・原油・原材料価格の上昇の影響



問5.現在、直面している課題（複数回答）



問6.今後重要と思われる行政等の支援策（複数回答）



問7.現在の景況感、経営上の問題点についての意見、行政等への要望（自由記述）

- 毎年、多くの若者が就職や進学で県外へと出て行っています。そういった中、県外からの移住者に対しては手厚い補助や待遇をされていますが、地元に残る高校生や学生に対して何もなされていない事に疑問を感じています。地元に着するまで期間を決めて（例えば3年間とか）その間、残った人に対して補助金を出すなどの対策をしても良いのではないかと考えます。若い人材を残していかなければ、企業のみならず鹿角市全体がどんどん廃れてしまうのでは…と懸念されます。
- 鹿角市省エネ設備等更新支援補助金のような素晴らしい補助金を今後とも実施して頂きたいです。
- 円安の改善 燃料価格の高騰 米価の安定農業のお客さんが多いので
- コロナが始まってから、売り上げの低調が続いている。また、ほぼすべての原材料に対して価格が値上がりしている。上げ幅は10%～40%ほど。急な値上がりの連絡が多く、自社商品への価格にすぐに対応するのが難しい。商品価格の値上げはしていても上昇している分消費が落ちているためか、昨年度比の月別の売り上げが落ち込んでいるため、資金繰りが非常に厳しい。引き続きコロナ禍ではあるが、飲食を提供するイベントの実施や金融支援(給付)を実施していただきたい。
- 6月に開催した花輪の市会場でのマルシェは大成功だったと思います。市主催の催しや行事もたくさんあると思うがイベントの魅力、告知方法などもっと工夫が必要だと思います。市と民間がコラボすることで違った形が見えるかもしれません。
- 原油高、ロシアによるウクライナ侵攻等で、材料・電気料値上げ等にて利益確保が厳しくなっている。又は、人口減少や若者の県外流出にて、人材確保に苦慮している。若者の地元定着支援を行って欲しい。
- 短期的課題：燃料費が大きく上昇（特に電力料金）に対する支援（価格抑制・省エネへの補助等） 長期的課題：人手不足に対する支援（省人化を実現できる設備に対する補助等）
- 原材料、資材の高騰が継続していて価格転嫁が間に合っていない。受注件数は回復傾向が見られるが、一件あたりの受注数量は減少が著しい。大企業含め業界全体で見れば回復傾向と捉えられるかもしれないが、小規模事業者にとっては全くといっていいほど回復の影響が感じられない。
- 燃料・電気代の高騰がとにかく厳しいので、省エネ設備への入替についてだけでなくそもそもの補助があると嬉しい。